淘 治セラレ

ブル」ノ植物

タル我帝國ノ國民ヲ見ヨ此等ノ山河草木

ガ

如何

_

我國民性ヲ美化シ詩化シ居

ルコ

ŀ

夫レ幾何

رَ

ナイカ是ニ由テ之ヲ觀レバ植物

ノ學 ゾ此

未

完

ル心情ハ延イラ我邦ノ美ナル道徳ト密ニ相關聯シラ居ルデ

美化 IJ

が斥スル シ

亦

一面我國道德ノ破壌者

デアルトモ

言

ヘル

詩化

七 Æ

植

ッタ又ソレト同時ニ私ノ殘念ニ感ジタノハ今日コンナ進歩ノ世デアリナガラ何故ニ此樣ナ誤譯チ舊ノママニ放棄シ置イテ少シモ吹正チシ 牧野富太郎日フ頃日私ハ或必要がアッタノデ聖書中ノ或ル植物チ調ベテ見タガ其支那ト日本トノ兩譯書ニハ其植物ニ誤譯ガ多イコトヲザイン

デアル者シモ同君ノ記事ニ誤ガアッタナラバ幸ニ数チ垂ルルコトニ吝ナラヌコトチ私カラ讀者ニ懇請シテ置キマス又私ノ友人ノ松田定久 コトデアロウ) カヌノデブロウカトイフコトデアル(間違ッタコトチ直スコト卽チ過チヲ敗ムルコトデアルカラキット神様ハ此吹譯ノ擧ヲ嘉納シタマフ ナイコトデアル、又併セテ不審ニ思フノハ該数チ蓉ズル人々ノ中ニハ有數ノ碩學モ決シテ少ナクナイノニ何故ニ疾ク其邊ノコトニ氣が附 7並ニ久内清孝君ガ有益ナ譽老書ヲ貸シテ下サッタコトチ此ニ慇謝シ置キマス 私外信者デハナイケレドモ此等ノコトか氣ニナッテ仕方ガナイノデ試ニ私ノ知人ノ篠崎君ニ勸メテ此ノ文ヲ草セシメタノ

崻 信 几

ス

jν

=

足

jν

べ

*

・聖典

篠

郎

國語 = 飜 譯サレ 於テ創する

ハ容易 ナ ý ハ論 我 國 ナ ケ = v ・ドモ

世記乃至約翰默二世界二互リテ弘

示シク

示錄六十六卷邦語 ク配布サレタレバE

バ原書ヲ讀ミ得ザル者ト

雖ド

モ「バイブル」ヲ昧ヒ得ル

バイブル」ハ雷ニ神イエ

ーナリ而

テ原書

ハ

ギリ

シャ

スキリストヲ信ズル者ノ寳典タルノミナラズ寳ニ一般人類ヲ敎化

"及ビヘブル語ニテ誌サレアレド旣ニ世界五百六十餘種

叉橫濱

於ル

米國

聖書 セ

||會社 ŀ

々長タリシ故ルウ

ニ飜譯サレ

タルハ明治二十年末

ヲ

邦

語

飜

譯

試

ミタ

jν

人士ナキ

ニアラズサ

v

シス博士ニ負フ所大ナルヲ忘ルベカラズ聖書會社以外ニ ノ事ナリ其功飜譯委員ニアル イブ

ド新舊約六十六卷ノ全書ヲ完全ニ飜譯 Ý 1 タ w

事

泥

ャ

文字

Ŀ

ŋ

孫

引

名

ヲ /借用

ス

v

ガ

如

キ

蒙

亦甚

ダ

シ

ŀ

謂

フ

7

吾

人

我

力

植

w

卷 一第誌雜究研物 ヲ我國 テ部 ザ 原 速 當 脫 物 不備 時 to 植 **≥**⁄ w iv 外 . カ ハ 之 改 テ 幼 語 ズシテ或ル少數 物名稱ニ於テ其著 |分的ニ大訂正ヲナ Æ テ僅カニ原書 ラ 調 ズ 支 國 稚 人 v 杳 * 7 イブ 1 郵 我「パイブ 補 アリタ 本 7)* = -7 1 ゛ 會得 要 y 植 產 フ w ୬ ルレヲ べ = シ 丽 朋 .7 物 ス īv 爲 足 翻譯委員 リト 力 w . ≥∕ 力 jν シ _ラ 参照シ 名稱 易 べ ラ 植物 解 テ w ぇ ナ バイブ 聖書 . 筈 羊 ご識 ズ 云フ而シテ ラ セ ズ叉外 菲 樣 シ サ 尙 叉 ズ ラ ヲ ナ 考證 全 濫 我國 ŋ 者 丰 新版 會 茰 v ₹/ モ = ル」ヲ創始 アレ 舉 Æ 大ニ テ 力 植 ナ 証 用 1 物學 名 原 我 人 ラ 3 , 國 キ ŀ **≥**⁄ = = 得 支那 國 ァ 支那 ド然 事 苦 v 僅 人 於 稱 4 タ = ø ルヲ認 紹 苾 側 w = = w ヲ = ナ ヶ 生 介 所 他 就 時 於 ŋ w 歐 語 モ大體 = 的 シ w 諸 名 アリ 委員 テ 育 代 テ ナ 米 於 ス 飜 = = 邦 藉 稱 士 7 テ 譯 モ w モ 4 v 1 居 蒙ヲ 我國 學 歷 = ۴, ヲ ŀ π = タ ۱ر 語 委 w ブ 我國 於テハ 雖 嵐 我 我 員 ボ 史 ラ Æ 現 ナ w = 前 ý 悟 y 舊 4 由 國 飜 邦 如 = モ = 產 朗 乃至 植 做 n 時 譯 語 苦 * ラ A ナ Ħ 治二 植物 我國 舊版 舊二異 ŋ ズ 物學上 y 惠 ス Ŀ V = ľ 世衆 現今出 モ タレ 精通 言 シ 如 jν 岼 談 テ我り 植物 一十年 事 語 學 早 稱 キ妄斷ダ ŀ ナ 學上 就キテハ原名ヲ假名 ۱۷۸ 實 術 ヺ ラ クーバイ セ w 泰 以前 其苦心努 定 對 ズ而 版 ヲ 便 ザ ۱ر モ 調 幸 照 見 西 **≥** セ w 1 査 堇 吟味ヲ經 ヲ ケ ツヽア ヲ = ₹ ァ 植 = ス シ ブ ブ Ú 世 於ケ テ譯 聞 ス モ × IJ ν ハ之ヲ 物 ル」全 v 力 म 界 タ タ 學 バ テ ク 容 語 的 jν jν ギ ナ w jν 1 1 = 避ケ ラ植 支那 我國 程 IJ = 何 易 ガ 邦 部 IJ 當 = = イ 如 語 進 過 進 ァ タ ヲ €/ 時 = ۱ر ノ植物 飜 實 物學 文字 得 **治發** ラ 知 何 飜 7 t 語 ₹ w 譯委 居 ズ ゙ヺ 譯 w ザ w = = 及 1 事ヲ 支那語「 今 知 F, 的 植 ナ 達 ୬ シ = ν w ブ راد ا الار .記 物 IJ ラ 學 H 譯 = シ 1 ラ タ ^ Ħ w 我 居 觀 得 其 名稱 ノ學者 ザ ふ未 ブ ₹/ w ラリテ 於 本 テ 撰 國 w ν ア w w 1 ィ バイブ *y** 體 リ是レ 初 3 ヲ パーパ Æ Æ 語 ハ ブ ブ 斷 踏 植 版 キ 本 ヲ w 物ラ能 我飜 襲 草 英語 確 筈 ナ ハ想 1 ナ ジ 夕 一所載 jν 誠 所 y 學 物 テ IJ X ナ 3/ w |ヲ踏襲 像 知 殊 我 爲 タ ν 載 而 jν 當時 餘波 委 ラ 110 w ŋ 植 北 ₹⁄ 辭 國 ス シ 其 知 物 植 吾 員 能 典 べ ザ テ 較

譯

ラ

北

ヲ 人

物

3

3/

v

人

ハ

ヲ

淮 ブ

患 w

ス

w =

從

Ŀ

飜 チ

譯 由

Ŀ ヲ

缺陷

發見

ス y

w 果

事

多

4

ァ

べ w

1

當 吾

然 入之

= 米

3/

テ 朋

訂

Œ

テ

ハ眞意

ヲ

傳 研

ヲ

カ

セ

ズ

ŀ

雖

١° 7

الار

イ

ブ

w

誤 =

譯

多

聞

ク

事

Þ

ナ

୬⁄

テ

誤譯

改

譯

委

員

ゲ ズ

一備

=

怠

-

v =

۴.

改譯

糖 行

꺠 フ # P

那 必 ハ 否

邊 要 理 ャ

ァ w

jν べ

力 =

是

知

ザ

 ν

只老婆心

~

デ

物

場

合

ゼ゛

ŀ

Æ =

ラ

ズ

涿

= ヲ 度

根

的

大改

譯

ヺ w ァ

起

シ

國

聖 部

會 的

祉

於

テ

Æ ₹ Ŧ

我國

ィ

ブ 二植

關

ス

w

事 ヲ 4

項 奥

=

就

+

改 其 驱

譯 進

1

必要

ァ ナ ٠٠

w キ

諸 由 本

點

ヲ

誌

シ

U

ラ改

譯

委員

1 =

叄

考

資 吾

3/ 人

併

ラ現 ヲ 書 孙 =

= ラ

我

バイブル」ヲ味フ

兄

姉

核

ヲ

た

ね

ŀ

呼

ブ 果

往

Þ ナ

7 ١,

v ŀ

۴° 晶

Æ 别

種

普

通

ナ

w 我

=

及 國

~\

ズ

實 テ

蓏

寧 通

U =

み A

Ŧ

意 稱

味

テ

カ

ね 72

ヲ ね

示 ŀ

ス

所 别

ナ ス

キ

ナ =

IJ

ズ

ヲ

ŀ

云

フ

ス

w

者

ァ

 ν

۴

モ

於

ハ

普

ŀ

≥⁄

テ

僅

=

區

w

過

ズ

果みギ

植

行 發 月 t 年 五. Æ 木 命が諸まニ z 單 類 云 O 備 ので置 あ 谌 核热地。創為考 = ヲ ۲ 生 < 樹まキ 孙 世之二 玾 12 る J. シ * Z テ ッ 不 ર્ષ્ઠ , Æ 發い記*供 同 合 所 w ŀ 12 を =) 0 出光一 セ 汝草 逸 所約 は ァ ዸ 理 カ す ン 我な等を 二九、 若 のがべ IJ 早 ナ ŀ ŀ 食品に ŋ 樹a 而 ク シ 欲 = を登ります。 粉 造 頭き E 人 孙 シ ス テ 物 類 太 ッ 實 類 ح 主 1 Ħ 莁 食料 斯が神が IJ 7 n 飾 ヲ せ 認 諸は 利 な ヲ Ò b. Æ 言於 不 ので汝江神楽用 神なり 72 メ 72 = 青紫等言於上 自 テ 供 4 ね 2 12 然 É を 其 ñ 地がひ 3 3/ ŀ 0 を青れる 讀 草。糧費 IJ 命 得 ナ とな 試 令 y W ベ 7 與た 叉 H は ₹ ス キ = 事. 譯 觀み其を地を 人 る る < w Ħ べと即ちばしていた。 ż 嚭 は IJ 類なは ハ ハ た 高書 視み訝 更 斯 ラ意味 女 ŀ 17 ^ た草気 從 ୬ **≥** " が地。我なキなの全意限 テ ď, 無 かご 實た 理 Æ 地 Z ス 青を實施な 5 諸土地がナ 球 ١ ナ y ŋ 草 ¥2 のでの Ŀ セ 文字 獸ti面t創 ŀ = _\\ⁿ ۲ 草 植 人 굸 とのにて世 或 天をあ 記 類 フ 物 る草は ナ = 容らる ŀ 貊 ゝ ŀ の實施記 草、蔬 應 愚 ヲ w 굸 ガ 支那 と共を 諸法蔵n者 生 區 蔬さ フ ゼ カ 動 シ のでの ガ 别 ٦ ジ 雜 鳥な 我 物 其類 人 メ タ **≥**⁄ 中 草 B 見 ŋ 類なに る 未 Ø £ 諸サヲ w ľ ŀ 從以 = ダ w ŀ IC ので加 全 從ないが び 信 ハ ハ ハ 草 D 菜 ァ 地*草(へ ズ " 25 Ħ 蔬さ神 生 ひ づ果か = ŀ ~ 12 w ケ 生 y 匍ょと ハ ŀ ゼ v 云 自 フ 核点人 ザ F, Ł 6 ズ = ኢ 諸さあ 核於 巧 ŀ 由 IJ w 3 æ T 實 草(す y E = のマる ナ シ 物。木5關 當 蔬さび ヲ モ **≥** ĕ v 蓏 奇 等。東海係 ኑ テ 時 7 ŀ 2 注意の 此 み 所約 ŀ 異 Æ ۸ر 場 於 結唸念 植 づ 何 云 = 0)3 Ã 生%る 頭 シ テ Z) ۲ 物 ヲ 樹a

۴,

ァ

IJ

種

2 ŀ

デ

(61)卷一第誌雜究研物植 樹☎○日章 植物分 samodendron Myrrha) ノ樹幹ョ 族 ŀ " ク之ヲ 示 出 物性)同章ノ 亦謂 セ ノニ ゥ = ス ナ U = 地を記 ラズサレ 章 jν び ン屬(Balsamodendron)植物ノ ナ **≥**⁄ 4 レナ 1護謨 アラ 措 護護 ぜ ラ 類 てみ ナ ジクかんらん科ニ屬ス 1 3/ ハー二其地の 九 ダ 穩 ラベ 公法ヲ人 り而 づか ル物アリ是レバルサモデンド ል × n 力 ナ 3/ リ而シテ又「バイブル」中諸所ニ バ香料ト ホ ナ テ其類 (為的 種 ラズ灌木ヲさト らた 毛 八神觀に美麗く食 b, 心の金は善しいの。 ŀ ね 解 導 灌木は未だ地 ĩ 是等 シテ「ブドラク」ヲ貴 ス を 從 w B キ 者卜 的ノ記事 ばなり、 U = **≥** 2 がいたの てト 就 又ブドラクと碧玉彼れて記事トシテ之ヲ認 く食ふに善さ各種の樹を土地より生ぜ、木ナル譯語ハ確カニ不當ナリ是ハ寧ロ Æ w , テ リ滲出スル ァ ボ 樹智 護謨ナ リ後者 ナ 云 ス 7 ウェリ ス y 植 にあらず野の諸の草疏は未だ生ぜざりき其は 兹ニ至リテ「バイブル」ノ宗教的色彩愈 ŀ 物學 n 是等ノ章句ニ就テハ植物學上ヨリ種々ノ説明ヲ下 ル數 た U ハ飜譯者ニ何 jν 7 語 **~**3 說 ねを内に藏するみをむす 護謨 ン、アフ ピ Ŀ 屬 (Boswellia) ノ 一没藥 Ħ v **≥**⁄ = 事ヲ 後世ノ「クリスチャン」ナ 3 y 人樹脂 ŀ ルメテ止ンノ 或 處ニあり、「ブドラク」ニ ŀ 云フ而シテ黄金及ビ碧玉等ヲ貴ビタル ŋ レバかんらん科(橄欖科、Burseraceae)植物 想像 臆 譯 3 カ リ製シ 說 力考 サレ ヌ ラ奥 スル 4 ノア タ (Balsamodendron africanum)ナン タル 3 jν モ不合理ナラ ~ 得 リシ故ナル 植 ŧ モノ 物 , jν せしめ又園の中に植物一般ヲ示っ モ 事ア Ħ 樹 質ニバル ナリ又乳 滲 y ル植物學 ŀ 就テ ベ 々濃 云 出ス ズ現ニ香料若 ŀ 八乳香から ケレ ァ事 モ .# 決 厚 w ハ之ヲ寳石 に生命の 者 ŀ, ≥ 乳 ŀ Æ ŀ 工 = テ モ ヲ シ 液 デ ナ ホ 的 ₹ テ 樹 V バ 樹 ス ン 個木ヲ分 人類 リ草 神雨 · シ 得 テ み ٢٠ n クハ薬品 脂 確 種 樹a解 " モ ナ U スベ 植物 蔬 を地 ル餘 內 きよ 1 テ ハ ナ N ン 製 チ 決 不變ヲ信 jν 種 說 = ۸ر ・テ喬木 に降言 Ü 前 地 属ラ た 18 明ヲ下シ ₹ 1 ŀ ୬ ŀ 善きり ア 樹 テ Ξ jν 解 ナ タ w シ ね 幹 テ 太古 述 異 サ せたまは v ラ w ス ァ ŀ, を モ w ŀ べ 也》 香 = 3 w リ滲 ゔ 者 得 知 灌 **≥**⁄ ス (Bal-デ Æ **≥**⁄ 事 料

如

木

0

w

姑

メ

ヲ

빗

バイブル」中ニ没薬又ビ乳香等ガ貴重ナ

ル香料

ŀ

シテ誌サレ

ァ

w

=

見.

N.

モ

後

說

捨

ラ

難

キ

ヲ

知ル

= 完

足

jν

べ

はなあぶ

力 = 咲ク ^ _\

テノ嚴寒

ノデ 是レ 題

ァ

jv

力

ラ如何ナル昆蟲ガ花粉媒助

グ任 ŀ

ニ當ルデ

アロ

ウカ

ŀ

ハー寸疑問

ナ

w

デアル冬ョ

リ 早

春

揃

ガ蟲媒花

B 冠 iv ヲ

ヲ疑フ餘地

=

=

ナ

jv

併シ此

梅花ガ寒氣凛烈

シテ時ニ

ハ六花

ノ繽紛タ

ル時

梅が

花

著

ナ

w 花

有 **≥** 馥郁

タル清香 ハ無イ

ラ放

チ叉窒腺

ラ備

テ花蜜ヲ分泌

ス

v

此

1

如 野

ŋ

, 此等ノ三要件ガ花

名和昆蟲研究所

長

索

次

郞

ナル昆蟲が梅ノ花ヲ媒助スルカ

如何ナル昆蟲が梅ノ花ヲ媒助スルカ

昆蟲 ニテ 結實 诗 みつばち ル今其重 æ 少シモ ニ之ヲ注 ガ 樹ヲ 水ル

ながひらたあぶ

쯂

折ニハ昆蟲ハ一般ニ蟄伏シテ活動

3

ス人モ ナ 梅 1 :ノ花粉 ガ普通デア かい驚ニ Ħ jν ッテ媒介 カラ此疑 問 セ ラル ŧ 應尤 jν デアロ 7 次第 ウ - デ アル從 ۴, 臆 テ

セシムベキ程多數ニ存 空晴レ渡リ 力來 其要ヲ得テ居 ァ 視 ル併シ是 ナ ス イカ テ格別風 v = グヲ知 ŀ v ガ ナ ハ不精ナ人 ラウ 早 イ實際 ス 道 無 jν + ŀ モノ デ 日 ァ 思 營 ラ デナイ が机 ニハみつばちゃ w 早 ナラバ實際 到 湷 シ上 i 處ノ ニーテ氣 ソ レ 梅 構 候 梅 3 成 樹 あぶ 7 IJ ヲ シ 花 Ŋ. モ シ タ 寒キ 梅花 テ悉 說 類 咲 デ 折 ァ ガ

デゲテ見 バ先ヅ左 通リデア

訪

簡

テ

花 類

ニョリ花

飛

だ移

=

ŀ

實二

著シ

キ

Ŧ

w

ナ

jν

種

ラ舉

Apis mellifica